

射水市コミュニティ・スクールだより NO.3

令和 8 年 2 月 発行 射水市教育委員会

コミュニティ・スクール研修会

令和 7 年 1 月 20 日（木）に射水市役所でコミュニティ・スクール研修会を実施しました。各学校から学校運営協議会委員、学校支援コーディネーター、管理職等 4 名が参加し、総勢約 80 名での開催となりました。

（1）先進地視察報告（視察先は東京都三鷹市）

主な報告内容は次の通りです。

- ・三鷹市は平成 18 年度より、コミュニティ・スクール（CS）を基盤とした小中一貫教育に取り組んでいる。
- ・市内 7 中学校、15 小学校を 7 つの学園に分け、学校運営協議会と学校支援ネットワークが一体となった「CS 委員会」を設置し、様々な取組を行っている。
- ・15 時以降は学校を地域の施設として捉えており、地域の方が学校施設を利用し、児童生徒の「学習の場」、「遊びの場」を運営している。



<視察報告>

（2）実践発表（大門中学校の取組）

大門中学校から「応援ボランティア募集」「応援ボランティア説明会」「花・野菜苗植え」「生徒の地域の福祉施設でのボランティア活動」「小中合同あいさつ運動」「調理実習、木工制作補助」「和太鼓実習」「14歳の挑戦事業の取組」「英語検定の実施」等の活動の紹介がありました。

また、活動を振り返っての改善点も提案されており、よりよい活動になるよう工夫されていました。



<実践発表>

（3）情報交換・熟議

校区の枠を超え、6人グループを編成して、情報交換・熟議をしました。テーマは「コミュニティ・スクールの成果と課題」です。次のような意見が出ました。

<成果>

- ・子どもと顔見知りになり、あいさつするようになった。
- ・生徒が高齢者施設訪問や地域行事等に参加することで、生徒の自己肯定感が高まっている。
- ・花壇整備、読み聞かせ、校外学習の引率補助等、ボランティアに手伝っていただくととても助かっている。
- ・ボランティアも子どもとふれあい、「元気がもらえる」と喜んでおられる。



<情報交換・熟議>

<課題>

- ・人の確保が難しい。若い人にも参加してほしい。
- ・学校を支援する地域の団体があるが、それぞれで活動している。
- ・学校の先生との打合せの時間がなかなか取れない。
- ・急な変更があったりし、ボランティアとの連絡・調整が難しい。

<今後について>

- ・ボランティア同士、横のつながりができればよい。
- ・子どもに近い人や、動ける方をメンバーに加えていく。
- ・ボランティアをしたいと思っている方はたくさんおられるので、参加しやすい工夫が必要である。
- ・学校と地域の壁をなくし、連携していく。先生方を交えた熟議をする。
- ・CSの活動は学校からの要望だけではなく、CSが活動を考え、提案していく。

とても充実した話し合いとなりました。今後に生かせればと思います。

コミスク活動、展開中

各学校で学校支援コーディネーターが企画した活動やボランティアによる支援活動等のコミスク活動が行われています。



＜東明インタビュー・東明小＞



＜日本語指導・射北中＞



＜乗馬体験・下村小＞



＜シイタケ菌打ち・金山小＞



＜家庭科マシン・新湊中＞



＜全校落ち葉掃き・中太閤山小＞



＜里芋の収穫・歌の森小＞



＜サツマイモ調理・小杉小＞



＜保健体育授業・小杉南中＞



＜田植え・片口小＞



＜祭礼について聞く・新湊放生津小＞



＜福祉授業・太閤山小＞

市内小中学校で4月から行われたコミスク活動は、参加延べ人数が約2000人、延べ活動時間が約2800時間となっており、学校も子どもも、参加されたボランティアも笑顔になる活動が広がっています。

「コミュニティ・スクール」がスタートし2年目が終わろうとしています。

今年度は、学校運営協議会や学校支援コーディネーターによる、工夫された活動が行われるようになりました。参加してくださるボランティアも増えてきています。子どもや学校の一助になっていることが実感でき、とてもうれしいです。

まだまだ課題も多いですが、今後とも、「子どもも学校も地域の方も笑顔になるコミュニティ・スクール」を目指していきたいと思っています。

何卒、ご協力よろしくお願ひします。

＜担当＞ 射水市教育委員会 学校教育課 TEL 51-6635